

マレーシア便り (第13回)

兵庫県立津名高等学校
理科 物理担当 井俣 由貴史

こんにちは。5・6月はいかがお過ごしでしょうか。日本では季節外れの気温が続いたみたいですが、兵庫県（淡路）ではいかがでしたか。特に、教室棟3階の温度はすぐに高くなるので、授業も大変だったのではないのでしょうか。また、県総体が始まり、生徒は精一杯取り組むことができたのでしょうか。総体が終わると、進路に向けて、突き進むのみですね。

マレーシアでは、本格的に乾季に入り、日差しがじりじりと痛いですが。雨季とは異なって、昼間に上昇した水蒸気が夕方くらいに、すごい雷とともに雨となって降ってきます。しかし、1～2時間で雨はあがります。

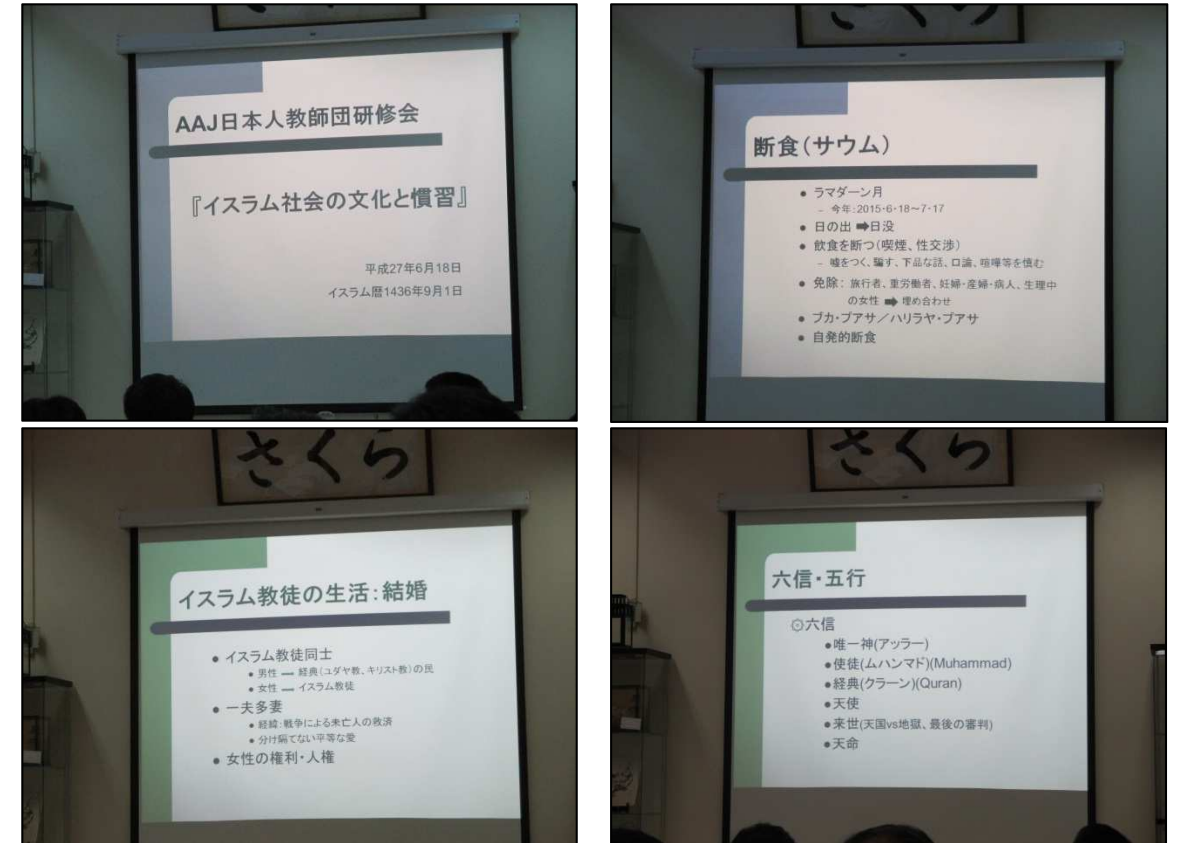
さて、4月後半からセメスターⅢ（3学期）が始まりました。そして、5月は本格的に授業が進み、とても早いペースで進んでいます。セメスターⅢはセメスターⅡまでと要求される日本語能力も高くなります。物理の問題文章は生徒にとって難しく、とても苦労しています。物理の授業は1週間に約8時間あります。セメスターⅢは「熱力学」という分野からスタートしましたが、15時間で終わりました。もっと伝えたいことが多くある中、11月にある日本留学試験に間に合わせるため、ペースが新幹線です。（生徒は授業のスピードを新幹線に例えることがあります）今年度からは日本に合わせて、新課程になり、行う分野も増えたため、昨年よりもさらに早いペースです。

生徒はお祈りのために5時頃に起床、終わったら、少し寝て、7時起床。朝食をとり、8時から18時まで授業。18時から追試、補習があるときもあります。帰宅したら、日本語、数学、物理、化学の宿題（全て日本語）をするというような生活リズムです。この2年間はこのような生活です。私的に、日本のように、授業で頭を動かし、体も動かす（体育）というような、カリキュラムはやはり素晴らしいものだと感じています。

5月後半から、1年生セメスターⅠの授業も始まりました。昨年度は、1年生のセメスターⅡから授業を担当していました。今年度から、教科教員はセメスターⅠの授業も担当することになりました。初めてのオールイングリッシュでもとても準備が大変です。演習問題の作成、話しすることをまとめること・・・原稿を作成しても、それを読みながら授業をすると前を向けないので、ある程度のフレーズを覚えておくこと。しかし、生徒は私の英語の下手さは理解しているので、よく聴いてくれます。授業を重ねると自分が話をするのは慣れてきますが、生徒の質問などを聞くことの方がとても苦手です。何を言っているか分からないことが多いです。「slowly」と言ったりして、ゆっくり話をしてもらって、なんとか質問の内容に辿り着きます。でも、生徒はとても明るく、楽しく授業をすることができています。オールイングリッシュの授業はセメスターⅠだけなので、10月くらいまでです。生徒の理解が、より深まるよう教員一丸となって、取り組んでいきたいと思えます。

さて、6月18日（木）から、ラマダンが始まりました。「ラマダン」というのは、イスラム暦の月の名前です。日本のニュースでも取り上げられる通り、この月はイスラム教の人にとっては神聖な月で、信仰心が厚くなり、太陽が昇っている時間は断食をします。マレーシアでは約6時（日の出）～約19時30分（日の入り）までです。厳しい人は唾も飲み込まないらしいです。日が落ちると飲食をします。昨年度も開催されたイスラム教についての研修会に参加し、ラマダン、断食、服装、ハラール（ハラル）などについて、多くのことを教えていただきました。

【イスラム教研修会】



日本教員団 元団長はイスラム教の女性と結婚されていて、イスラム教について、とても分かりやすく教えていただきました。

【ある日出かけたショッピングモールの様子】



マレーシアは多民族国家
(インド系)

日本では 2015・7・31 全国ロードショー
映画「ミニオンズ」のマレーシアでの
キャンペーン